ＤＪ－Ｐ２２ セットモードの拡張について

ＤＪ－Ｐ２２ 特定小電力トランシーバーには、普段の使用には余り必要が無くても環境や特定のニーズによってカスタマイズできると便利な項目を拡張セットモードに持たせております。
通常の設定項目にしなければならないほどには頻繁に使われない上、意味が分かってお使い頂かないと電池を早く消費したり、「故障かな？」と思うような動作をしたりする可能性があるので、これらは下記のボタン操作にてセットモードの拡張を行った後に設定画面に現れるようになっており、敢えて取扱い説明書には記載しておりません。
これら拡張メニューはパラメータ変更後に再びメニュー表示を隠すことと、完全初期化（通常のセットモード、チャンネル設定なども含めた全てを工場出荷状態に戻すリセット）が可能です。

[拡張後に使えるセットモード項目]
１：スケルチレベル
設定値　０～５　(初期値３)
ＦＭ電波特有の、通話が無いときに聞こえるザーというホワイトノイズを消す「スケルチレベル」の調整。工場設定で標準的なレベルに調整してありますが、ノイズが強い環境などで、通話していない時でもスケルチが開きカサカサと音が出る場合にレベルを上げると静かな待ち受けが可能になりますが、弱い通信信号も消してしまうため通話距離が短くなるように感じられることがあります。逆にノイズが低い環境では、レベルを低めに設定することで弱めの信号でも受信しやすくなる場合があります。レベルをゼロにすると、常にザーというノイズが聞こえるようになります。

２：キーロック設定に入るまでのボタンを押す時間
設定値　1~3 秒　（初期値 2 秒）
通常は指定のボタンを２秒押すとキーロックが掛かりますが、このタイミングを１～３秒の間で変更できます。

３：バッテリーセーブ（ＢＳ）
設定値　ＯＮ／ＯＦＦ　（初期値ＯＮ）
電池消費を最小にするバッテリーセーブ機能は、僅かですが通話の始めの部分が途切れる原因の一つになる場合があります。これを少しでも軽減するためにここでＢＳ設定を解除できますが、電池の消費が早くなるためご注意ください。劇的な効果が期待できる設定値ではありません。

４：電池電圧表示
何かを変えられる項目では有りません。拡張後このメニューに合わせると、お使いの電池の電圧を表示するので電池残量チェックとしてお使いになれます。テスターのような精度ではありませんので目安とお考えください。

５：マイクゲイン調整
設定値　1～8　（初期値 4）
通話時の癖やアクセサリーマイクのゲインなどの都合で、人によって無線機に入る声量は異なります。このため、音が小さい（話す声が小さい＝レベルを大きくする）、音が歪む（声が大きい＝レベルを小さくする）等の場合に調整できるようになっています。お使いになるイヤホン

マイクによってもレベル調整が必要になる場合があります。

[セットモード拡張の方法]
１：キーロックを掛ける。（２つあるうちの、どちらの方法でも可）
２：グループキーを５回連続で押す。４秒以内に５回押さないと有効になりません。キー操作が有効であれば「ピピッ」とビープ音が鳴ります。
３：上記１で行った操作と同じ方法を繰り返してキーロックを解除します。
４：セットモードに入ると上記のメニューが追加されています。
＊ 変更した値を保存して拡張メニューを隠すには、上記１～４の操作を繰り返します。
＊ チャンネルや通常のセットモードで設定したパラメータも含め全てを工場出荷状態まで初期化するには、電源を切った後フロントパネル上のボタン▲、ＧＲＯＵＰ、▼の３つ全てを押した状態で電源を入れます。全ての設定がリセットされ、工場出荷状態に戻ります。
＊ 説明書に記載のリセット（初期化）方法では拡張セットモードは閉じず、設定した値も初期化されません。拡張セットモード以外の部分は工場出荷状態に戻ります。

以上
アルインコ（株）電子事業部